

バリアフリー基本構想(JR芦屋駅周辺地区)への市民意見募集

1 募集期間：令和2年12月28日(月)～令和3年2月5日(金)

提出件数：7人11件

2 意見要旨及び市の考え方

取扱区分：A（意見を反映）0件、B（実施にあたり考慮）3件、C（原案に考慮済み）0件、D（説明・回答）8件

No.	項目	該当箇所	市民からの意見(原文)	取扱区分	市の考え方
1	全体	-	バリアフリー基本構想(原案)に賛成いたします。わが国においては西暦2025年以降、団塊の世代が全員75歳以上の後期高齢者となります。芦屋市においても、同年の高齢化率は全国平均30.0%を上回り31.6%と予想されています。このように予想される状況においては速やかに社会資本整備の推進が必要です。令和8年度末事業完了を目指している、市街地再開発事業と一体となって取り組むことが重要です。	D	JR芦屋駅南側は、特にバリアフリー化に関する整備が不十分な箇所が見受けられるため、重点的・一体的な取組を行うことが都市機能の増進を図るうえで有効だと考えており、市街地再開発事業の推進とともにバリアフリー整備に向けた取組を進めてまいります。
2	生活関連施設や生活関連経路等に関するヒアリング調査	p 44, p 45	まちあるき3コース及びヒアリングに参加したが、本来は、まちあるき終了後、参加者による「ワークショップ」を開催し参加者の話し合いにより、意見を集約する事が必要である。(新型コロナウイルス対策を講じた上開催は可能)	D	当初は「ワークショップ」を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、1つの部屋等に集まったうえでの意見交換ではなく、その代替案として個別のまちあるきやヒアリング調査を実施しました。
3	道路特定事業	p 49	JR芦屋駅南側の市道358号線の両側歩道は、幅が1メートル前後の狭い歩道です。南側歩道は狭いうえに、再開発地域とされている東西約100メートルの範囲に4本の電柱が立ち並び、安心して歩行できません。車道と歩道の段差の解消も必要です。	B	市道358号線について、「両側歩道が狭いこと」や「車道と歩道の段差があること」などの課題について認識しており、本構想において当該課題を明記するとともに、その改善を図ります。
4	道路特定事業	p 49	「道路特定事業」に表があって、その冒頭Aとして「国道2号」は「おおむねバリアフリー化されています」と記載されているのに、「国道43号」については記載がない。精道歩道橋にエレベーターが設置されたが、それ以外の改善はなく、「国道43号」は高齢者、障がい者、乳幼児はじめ、人にとっては「バリア」そのものだ。具体的な「検討課題」としての記述すらないとは理解に苦しむ。事業の実施主体が国であるにしても、計画に明記すべきだろう。	D	バリアフリー基本構想は、徒歩圏内にあり、不特定多数のかが利用する施設を中心に対象区域を定め、その区域ごとの優先的なバリアフリー整備の推進を目的としております。本構想は、JR芦屋駅を中心として、通常徒歩で移動することが想定される区域を対象しているため、国道43号については、今回その対象とはしておりません。なお、本構想の対象区域以外のバリアフリー整備については、周辺状況や道路状況等を考慮し、必要に応じて検討してまいります。
5	市街地再開発事業に関連する特定事業	p 52	JR南口に歩道橋(スロープ)を作ってください。	B	JR芦屋駅南側では、重点的・一体的なバリアフリー化に関する取組を進めてまいります。その取組の中で、歩行者用通路(ベドストリアンデッキ)を整備し、バリアフリー化された歩行者動線を確認する予定です。
6	市街地再開発事業に関連する特定事業	p 52	JR南口に歩道橋をつけてください。	B	
7	市街地再開発事業に関連する特定事業	p 52	再開発事業を「芦屋発展の種」「芦屋成長の芽」にしてください。キーワードは「賑わい」「憩い」です。「賑わい」は、楽天内協力を仰ぎます。楽天市場のネットショップの中から、阪神間の人に人気の高いショップを厳選して「楽天リアルショップモール」を開設します。「憩い」は、再開発ビルの屋上に、四季の花々が咲く緑豊かな無料開放の都市公園を開設します。公園中央部には小高い丘を設け、静かな音楽のライブを頻りに開催します。喫茶、軽食、ビール程度の軽いアルコールを提供する、おしゃやな屋台も設置します。公園の名は「火花が見える公園」(仮称)。サマーカーニバルだけでなく、冬の火花も恒例の芦屋名物にして、憩いとともに賑わい、活性化を創出します。	D	JR芦屋駅南側では、重点的・一体的なバリアフリー化に関する取組を再開発事業等により、進めてまいります。その事業では、「賑わい」に加え、「憩い」の創出に向けた取組についても検討してまいります。
8	市街地再開発事業に関連する特定事業	p 52	先の市議会でJR芦屋駅南地区再開発計画が行き詰ってしまった。本「構想」は、そのサブタイトルからして、この再開発計画を前提にしていると思われるが、いかが対応されるのか？	D	
9	市街地再開発事業に関連する特定事業	p 52	昨年の12月議会で、JR芦屋駅南地区再開発事業は、市当局から約34億円の事業予算縮減の見直し案が提出されましたが、自民・公明・B E A S H I Y A議員の反対により事業上の白紙状態にもどりましました。今回のパブリックコメント「芦屋市バリアフリー基本構想(JR芦屋駅周辺地区)」は、JR芦屋駅南地区再開発事業を前提にしています。こうした再開発事業が振り出しに戻った状態では、「市民意見」の出しようがありません。市としてもパブリックコメントの結果を踏まえた案を提案しようがないのではないのでしょうか。どのように対応されるのでしょうか。JR芦屋駅南地区再開発事業は、駅や駅周辺の道路等のバリアフリー化事業として大きな意味を持っていることをもって市民に知らせ、市民の合意形成に努力することが必要です。JR芦屋駅は1日の平均利用者数が56,000人で、市内でも最も利用者数が多く、またJR線以南に芦屋市人口の63%が住んでいます。芦屋市の玄関口ともいえるJR駅周辺が、市民や訪れる人にやさしい地域となるために、バリアフリー化を進めるべきです。	D	JR芦屋駅南側は、特にバリアフリー化に関する整備が不十分な箇所が見受けられるため、本構想を策定することにより、優先的にJR芦屋駅周辺地区のバリアフリー整備を図るものです。バリアフリー化に関する取組は、重点的・一体的に進めることが有効であるため、JR芦屋駅南側については、再開発事業等により、この取組を進めてまいります。事業の実施にあたっては、JR芦屋駅や駅周辺の道路等のバリアフリー化事業の必要性等について周知を図るとともに、事業の必要性について、議会を含め、市民の皆さまのご理解とご協力を得られるよう、今後も説明を尽くしてまいります。
10	その他の意見	-	モンテメールの駐車場(南側)とJR芦屋駅のコンコースと歩道で繋ぐと便利になるでしょう。駐車場の利用者が減ってきて、見直しが必要になっていると思う。モンテメールと協議されてみてはどうですか？	D	現状でも営業日につきましては、午前10時から午後10時の間は、連絡橋で駐車場とモンテメールは繋がっており、モンテメールからJR芦屋駅のコンコースに行くことができます。今後とも駅周辺のバリアフリー化整備とともに、駅利用者の利便性も向上できるよう施設管理者等と協議・調整しながら取組を進めてまいります。
11	その他の意見	-	まずは、前提として「市民意見募集」の在り方への意見を述べる。かつては「広報あしや」に募集の件名とともに、その説明も付して掲載された。ところが今回は件名だけ。主催者たる市民に大いに意見・提案を出してほしいとの意欲の後退(欠如)を感じる。11件もの意見募集であるから、当然ながら関係するテーマ(とくに総合計画、行財政改革、公共施設などは個々の施策にすべて関わる)があるが、応募する際は「個々の件名に応じて」ということになっている。以上のように、「市民意見募集」についての「総論的な意見」も出しやすくしていただきたい。	D	市民意見募集の在り方につきましては、「広報あしや」では、多くの方に手にとってご覧いただけるよう、文字を大きくし写真を多用するなど視覚的な読みやすさの工夫に努めており、紙面では主だった項目の掲載にとどめ、詳細については市ホームページにてお知らせしているところです。各計画のパブリックコメント募集では、「広報あしや」で各計画の概要までお伝えするには相当な紙面スペースの確保が必要となるため、スマートフォンなどからもホームページへのアクセスが可能なQRコードを表示することにより、各計画の詳細のご確認とともに、パブリックコメントを送信いただける募集フォームを掲載し、ご意見をいただきやすいよう取り組んでいるところですので、ご理解いただけますようお願い申し上げます。また、複数の計画に関連するご意見の受付につきましては、今後は、提出方法のわかりやすい説明を加えるなど、周知方法を見直してまいります。